

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-217		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	23	右枠内 1行	partcipate	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
2	41	脚注 1行	underground の発音表記	誤りである。 (第2、3音節の子音表記)	3-(1)
3	42	脚注 2行	agent(s) の発音表記	表記が不統一である。 (同行detergent(s)の場合と子音表記が不統一)	3-(4)
4	82	側注 2行	Vilcabamba la Viejaの発音表記 他：85ページ側注2行Urubamba	不正確である。 ('b' に相当する音の表記が不正確)	3-(1)
5	86	脚注 3行	landslideの発音表記	子音表記が不統一である。 ('d' に相当する音の表記が85ページ脚注1行 landscapeの場合と不統一)	3-(4)
6	157	側注 6行	industrialize(d) の発音表記	不正確である。 (語末部分の表記)	3-(1)
7	177	側注 4行	marble の発音表記	誤りである。 (子音表記)	3-(1)
8	195	側注 9行	Alexandra の発音表記	不正確である。 (2箇所)に第1強勢)	3-(1)
9	211	側注 13行	empowering の発音表記	表記が不統一である。 (115ページ脚注2行 enduring の場合と母音表記が 不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-218		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	31	脚注 1行	Pierre の発音表記	不正確である。 (強勢の置かれた母音)	3-(1)
2	50	脚注 1行	ostrichの発音表記	表記が不統一である。 (脚注2行swampの場合と第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)
3	57	脚注 4行	generosity の発音表記	表記が不統一である。 (11ページ脚注1行 electricityの場合と第4音節の母音表記が不統一)	3-(4)
4	128	脚注 2行	waterworksの発音表記 他：158ページ脚注1行underwater	表記が不統一である。 (脚注1行polishの場合と母音表記が不統一)	3-(4)
5	163	19	Recently we often hear	英語の現代慣用によっていない。 (副詞と時制)	固有 2-(1)
6	165	脚注 2行	wheelchair の発音表記	表記が不統一である。 (170ページ脚注2行 whiskyの場合と第1音節の子音表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-219	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	26	下囲み 5行	worthの見出し発音記号	表記が不統一である。 (25ページ5行worthの発音表記との対応)	3-(4)
2	26	下囲み 6行	hardの見出し発音記号	表記が不統一である。 (152ページ側注11行hardworkingの発音表記との対応)	3-(4)
3	35	2	Europeanの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
4	119	2	importanceの発音表記	表記が不統一である。 (141ページ側注8行importantlyに照らして、第3音節の母音表記が不統一)	3-(4)
5	152	側注 2行	unimportantの発音表記	表記が不統一である。 (158ページ側注5行unnecessarilyに照らして、第1音節の強勢表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-221		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	30	脚注 5行	What Parisians did	表記が不統一である。 (本文7-8行目では、what Parisians didと表記)	3-(4)
2	33	8	wonder ifの太字	表記が不統一である。 (9-12行目の場合と太字部分が不統一)	3-(4)
3	42	側注 9行	Netherland(s)の発音表記	不正確である。 (見出しの形と合っていない。)	3-(1)
4	62	側注 最下行	migrate(d)の発音表記	不正確である。 (括弧内の発音表記)	3-(1)
5	84	形式主 語表 ③	there are various opinions about itにある下線	表記が不統一である。 (④ではthat以下に下線)	3-(4)
6	95	下囲み 4-6行	andまたはCanを使った例文	相互に矛盾している。 (強形または弱形の発音表記と対応していない。)	3-(1)
7	100	側注 14行	hotlineの発音表記	不正確である。 (第1音節の強勢表記)	3-(1)
8	106	側注 13行	heartwarmingの発音表記	不正確である。 (第2音節の強勢表記)	3-(1)
9	109	下囲み 5行	発音表記及び例	相互に矛盾している。 (下囲み2-3行目の説明と対応していない。)	3-(1)
10	121	脚注 5行	on receiving～=As soon as he received～	相互に矛盾している。 (語頭の対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-222		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	10	側注 12行	Lourdesの発音表記	生徒にとって理解し難い表現である。 (スペイン人の名前の発音表記として一般的でなく理解し難い。)	3-(3)
2	40	側注 6行	contributionの発音表記 他：147ページ側注6行contradiction	表記が不統一である。 (81ページ側注6行competitionの場合と不統一)	3-(4)
3	72	側注 5行	workshopの英音の発音表記	不正確である。 (第1音節)	3-(1)
4	85	側注 3行	parallelの発音表記	表記が不統一である。 (56ページ側注9行characterの場合と不統一)	3-(4)
5	133	側注 2行	progressの英音の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音)	3-(1)
6	159	10	male students ran around town	表記が不統一である。 (7行the male studentsと冠詞の付け方が不統一)	3-(4)
7	165	側注 13行	besidesの発音表記	不正確である。 (二重母音)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-224		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	9	発音のヒント 1行	歯を閉じて 他：59ページ発音のヒント1行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この音を発音する際に歯を食いしばるかのように誤解するおそれ)	3-(3)
2	25	脚注 2行	doughnut の発音表記	相互に矛盾している。 (発音記号とカタカナ表記)	3-(1)
3	27	発音のヒント	斜体の r	相互に矛盾している。 (発音表記と説明の内容とが相互に矛盾)	3-(1)
4	30	側注 9行	eco-friendly の発音表記	不正確である。 (第2音節の子音表記)	3-(1)
5	49	発音のヒント 2行	一気に舌をはじいて	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (この音を発音する際に舌を必ずはじくかのように誤解するおそれ)	3-(3)
6	85	発音のヒント 6行	のどを震わせませす。 他：挿絵下の説明 声を足す (2箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (のどをどのようにならませれば良いのか理解し難い。)	3-(3)
7	105	20	4) Takashi made a chocolate cake.	相互に矛盾している。 (指示文と異なり、下線が施されていない。)	3-(1)
8	109	発音のヒント 5行	nとgを同時に発音して	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該子音をどのように発音するのか不明確で理解し難い。)	3-(3)
9	129	発音のヒント	見出しの音と、それに続く説明及び問題	相互に矛盾している。	3-(1)
10	138	脚注 1行	frog の発音表記 他：144ページ脚注2行 chaos	表記が不統一である。 (86ページ側注10行 jog の場合と母音表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-225	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	5	脚注 3行	Los Angeles の発音表記	表記が不統一である。 (110ページ脚注1行 costの場合と母音表記が不統一)	3-(4)
2	39	脚注 1行	norの発音表記 他：81ページ側注19行 sir/ 138ページ脚注1行 per	不正確である。 (弱形に強勢表記が付されており、不正確)	3-(1)
3	48	14 - 20	音の同化	生徒にとって理解し難い表現である。 (15-17行の説明と19-20行の例とが合っておらず、 生徒にとって理解し難い。)	3-(3)
4	68	地図	言語の地図	学習上必要な出典及び年次が示されていない。	2-(10)
5	70	脚注 1行	lawyer の発音表記 他：83ページ側注16行 jaw/ 178ページ左欄3行 Saunders	表記が不統一である。 (82ページ側注18行 automobile 第1音節の母音表記 と不統一)	3-(4)
6	125	脚注 1行	detonatorの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音が示されておらず、不正確)	3-(1)
7	137	脚注 2行	originの発音表記	表記が不統一である。 (153ページ脚注3行 correspondenceの場合と第1音 節の母音表記が不統一)	3-(4)
8	182	右欄 11行	挑戦する / accept a challenge	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (acceptの意味について誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-226		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	82	側注 13行	nanotube(s)の発音表記	表記が不統一である。 (129ページ脚注1行studioの場合と不統一)	3-(4)
2	94	側注 6行	vocalistの最終音節の母音の発音表記	表記が不統一である。 (61ページ脚注3行cyclistの場合と不統一)	3-(4)
3	97	脚注 1行	geographyの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音)	3-(1)
4	112	左下 写真	書籍の出版社名	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (OXFORD)	2-(7)
5	122	上枠 4行	Can you speak English, Korean, and Chinese?の文末のイントネーション	生徒にとって理解し難いイントネーションである。 (Yes/No疑問文の一般的なイントネーションになっておらず理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-227		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	20	脚注 3-4行	sir（見知らぬ男性に対する呼びかけの敬称） 他：脚注4行madam（見知らぬ女性に対する呼びかけの敬称）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （見知らぬ人にも用いる敬称であると誤解するおそれ）	3-(3)
2	27	側注 2行	Antoni Gaudiの発音表記	不正確である。 （母音表記）	3-(1)
3	56	脚注 2行	fingerの発音表記	不正確である。 （子音表記）	3-(1)
4	75	7	I'm not feeling wel.	誤りである。 （スペリング）	3-(1)
5	113	1	VISTA I 他：文法のまとめ 22、40、76、93ページ	特定の書籍の宣伝になるおそれがある。 （VISTA）	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-228		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	24	脚注 3行	Norman Rockwellの発音表記	不正確である。 (英音にファーストネームに相当する部分が示されておらず、不正確)	3-(1)
2	68	脚注 3行	ovationの発音表記	表記が不統一である。 (30ページ脚注2行 processの場合と第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)
3	71	脚注 1行	anti-Japaneseの発音表記 他：138ページ脚注6行 defect(s)	表記が不統一である。 (28ページ脚注2行 decade(s)の場合と第2選択の米音表記の方式が不統一)	3-(4)
4	71	脚注 3行	dueの発音表記 他：88ページ 脚注 2行 numeral(s)	表記が不統一である。 (115ページ脚注 2行 numerousの場合と母音表記が不統一)	3-(4)
5	82	脚注 4行	belongの発音表記 他：101ページ脚注3行 long(ed)	表記が不統一である。 (41ページ脚注3行 lossの場合と母音表記が不統一。)	3-(4)
6	82	脚注 5行	hominidの後のスペース	誤植である。 (スペース)	3-(2)
7	94	10	If it had not been his advice, 他：196ページ 10行	誤りである。 (前置詞がない。)	3-(1)
8	102	脚注 3行	devide	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
9	114	脚注 1行	construction の発音表記	誤りである。 (子音の脱落)	3-(1)
10	116	側注 7行	Familia 他：115ページ、117ページ、119ページ、121ページ、123ページの欄外タイトル	表記が不統一である。 (3ページ 1行では、スペイン語式表記)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-228		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	117	20	Gaudi's 他：側注3行/ 120ページ側注 7行	表記が不統一である。 (116ページ1行では、スペイン語式表記)	3-(4)				
12	117	脚注 2行	functional の発音表記	不正確である。 (第2音節の子音)	3-(1)				
13	118	脚注 1行	complicate(d)の発音表記	表記が不統一である。 (同行complexの場合と第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)				
14	122	7	Gaudi's	表記が不統一である。 (120ページ 17行のアポストロフィと不統一)	3-(4)				
15	122	脚注 2行	acceleration の発音表記 他：Olympics	誤りである。 (見出し語と合っていない。)	3-(1)				
16	127	6	A 3 の括弧内の語	不正確である。 (並べかえても、正しい英語が得られない。)	3-(1)				
17	137	下欄外	that help's us.	誤りである。 (文法)	3-(1)				
18	158	13	in times of need [まさかのときに]	不正確である。 (日本語に照らして、太字の範囲が不正確)	3-(1)				
19	173	26 - 27	9. Did Anne's father's concept that "the book of time has already been written" was right or not?	誤りである。 (文法)	3-(1)				
20	183	19	Let me tell us why ・・・の理由を説明させてください。	英語の現代慣用によっていない。 (日本語に照らして、一般的でない表現)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-229		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	4	8	Grove Communication I 他：18行	特定の書籍の宣伝になるおそれがある。 (Grove)	2-(7)
2	4	22	(例) 各パート冒頭の日本語導入文を利用する 他：25行	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのように利用するのか示されておらず、例として理解し難い。)	3-(3)
3	18	側注 10行	suggest(ed)の発音表記	不正確である。 (斜体と括弧の混在)	3-(1)
4	24	脚注 1行	singer-songwriterの発音表記 他：42ページ側注10行long-term/ 50ページ側注6行kind-hearted/ 100ページ脚注2行Pompidou-Mets/ 145ページ脚注2行anti-inflammatory/ 167ページ脚注2行old-fashioned	表記が不統一である。 (104ページ側注13行high-techの発音表記に照らして、ハイフンのある語の発音表記が不統一)	3-(4)
5	24	脚注 1行	costume(s)の発音表記 他：116ページ側注3行altitude(s)	表記が不統一である。 (58ページ側注13行dueに照らして、子音表記が不統一)	3-(4)
6	49	側注 5行	hometownの発音表記	不正確である。 (強勢の位置)	3-(1)
7	56	側注 5行	scaryの発音表記	表記が不統一である。 (90ページ側注3行interiorに照らして、母音表記が不統一)	3-(4)
8	78	脚注 2行	Draeger'sの発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)
9	104	20	a year.”	誤記である。 (文末の引用符)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-229	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	110	23	離しながら息を鼻から出して「ン」と言います.	不正確である。 (離しながら)	3-(1)
11	110	26	singerの太字部分	相互に矛盾している。 (見出しの発音記号との対応)	3-(1)
12	165	32	coffee strain	不正確である。 (coffeeの後に続く strain)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-230		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	5	左 上 写 真	書籍の出版社名	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (SCHOLASTIC)	2-(7)
2	37	上写真 説 明	「PALRO」 (パルロ)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (PALRO、パルロ)	2-(7)
3	37	下写真 説 明	ソフトバンクロボティクス	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (ソフトバンクロボティクス)	2-(7)
4	37	下写真 説 明	「Pepper」 (ペッパー) 他：60ページPractice 3. I saw a robot (call) Pepper. (私はペッパーと呼ばれているロ	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Pepper、ペッパー)	2-(7)
			ボットを見ました。)		
5	85	側注 5行	honey-coloredの発音表記	表記が不統一である。 (10ページ側注15行old-fashionedの場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)
6	94	グラフ	その他	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「その他」を5ヶ国以外の全ての国と誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-231		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	42	中央写真	写真のPENGUIN及びロゴ	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
2	42	側注 23行	Edinburghの発音表記	誤りである。 (第1強勢が2箇所につされている。)	3-(1)
3	62	枠内 2行	reformationの発音表記 他: Let's Try 1 cafeteria/ Let's Try 5 California	誤りである。 (第1音節の子音)	3-(1)
4	113	22	On athletic meet,	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
5	114	11	Let It Go ... レットイットゴー	不正確である。 (タイトルの表記)	3-(1)
6	144	Listening	There are no (④) panels on the bus itself.	178ページのスクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (設問の内容がスクリプト中で言及されていない。)	固有 1-(3)
7	178	21	so that why I have felt dull	不正確である。 (be動詞がない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-232		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	18	9 - 11	このような聞き取りの間違いが起こるのは、日本語には[ja] (ヤ), [ju] (ユ), [je] (イエ), [jo] (ヨ) はあっても、yeastの語頭の[ji] (イイ) という音連続はないからです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([j]が母音であるかのように誤解するおそれ)	3-(3)				
			日本人にとって、英語の音で区別しにくいのは、子音よりもむしろ母音です。						
2	24	脚注 1行	presentationの発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)				
3	27	脚注 1行	unwantedの発音表記 他：86ページ脚注1行influential/ 90ページ脚注2行representative/ 91ページ脚注1行best-selling/ 92ページ脚注1行worldwide/	表記が不統一である。 (4ページ本書の記号最下段の凡例に照らして、アクセント移動の可能性を表す記号が示されていない。)	3-(4)				
			102ページ脚注2行mathematical/ 106ページ脚注1行so-called/ 114ページ脚注2行world-famous/ 119ページ脚注1行astronomical						
4	50	脚注 1行	bonsaiの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)				
5	57	脚注 1行	eraの発音表記	表記が不統一である。 (56ページ脚注1行appearanceに照らして、第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)				
6	66	脚注 1行	disappointの発音表記	不正確である。 (第1音節に第2強勢がない。)	3-(1)				
7	68	脚注 1行	Stewartの発音表記	表記が不統一である。 (57ページ脚注1行attitudeに照らして、第1音節の子音表記が不統一)	3-(4)				
8	87	左右 写真	書籍の出版社名及び宣伝文	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。 (サンマーク出版、#1 NEW YORK TIMES BEST SELLER 3 MILLION COPIES SOLD)	2-(7)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-233		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻		本書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (第2章第8節第3款「英語に関する各科目に共通する内容等」2ア(ア)に示す「700語程度の新語」)	2-(1)				
2	i	右中	4 - Tsu-Ju and Kemari	表記が不統一である。 (33ページ上のタイトルと不統一)	3-(4)				
3	v	3	ATLANTIS Hybrid English Communication I Standard	特定の書籍の宣伝になるおそれがある。 (ATLANTIS)	2-(7)				
4	11	側注 6行	walletの第1音節の母音の発音表記	表記が不統一である。 (側注2行honestyの場合と不統一)	3-(4)				
5	11	側注 16行	swimwearの発音表記 他：17ページ側注16行fireworks/ 18ページ側注8行olive tree/ 25ページ側注4行field trip/	表記が不統一である。 (122ページ側注6行childhoodに照らして、第2強勢が付されていない。)	3-(4)				
			39ページ側注16行modern-day/ 74ページ側注4行vocational school/ 82ページ側注8行rest station/						
6	17	側注 8行	energeticの発音表記 他：12ページ側注2行vegetarian/ 18ページ側注10行decoration/ 23ページ側注16行aboriginal/	表記が不統一である。 (67ページ側注4行Mississippiに照らして、第2強勢が付されていない。)	3-(4)				
			39ページ側注10行interruption/ 80ページ側注18行destination/ 95ページ側注14行consolation/ 125ページ側注4行expectation						
7	17	側注 10行	watermelonの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音及び第2強勢表記の脱落)	3-(1)				
8	19	18 - 19	1～3は世界のトリビア的な質問で、4～5は個人的な質問です。	不正確である。 (番号)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-233		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	22	24	並びかえましょう 他：113ページ20行 いづれか	誤記である。 (平仮名)	3-(2)				
10	24	グラフ	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
11	25	側注 2行	rainforestの発音表記	不正確である。 (二重母音)	3-(1)				
12	25	側注 18行	antibioticの発音表記	不正確である。 (二重母音)	3-(1)				
13	44	側注 2行	curryの発音表記	表記が不統一である。 (側注16行serveの場合と不統一)	3-(4)				
14	68	右 下 枠8行	保障 他：103ページ24行 始めて	誤記である。 (漢字)	3-(2)				
15	72	23	終わっていまし 他：136ページ左欄13行 傍観す	誤記である。 (平仮名)	3-(2)				
16	91	8	homemadeの発音表記 他：94ページ側注8行 coworker	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
17	92	26	2A. 日本ではバレンタインデーに女性が私にチョコレートをくれることが興味深いと思います。	相互に矛盾している。 (2Aの英語と日本語訳の対応)	3-(1)				
18	94	側注 5行	[a] male 他：130ページ右欄33行 male(s) 名 男性の	不正確である。 (4行のmaleは名詞ではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-233		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	95	側注 8行	black beanの発音表記 他：101ページ側注17行tug-of-war	表記が不統一である。 (101ページ側注最終行figure skatingの場合と強勢の付け方が不統一)	3-(4)
20	95	側注 10行	sauceの発音表記	表記が不統一である。 (66ページ側注2行originの場合と不統一)	3-(4)
21	127	左欄 8行	adapt	相互に矛盾している。 (96ページ1行adoptと相互に矛盾)	3-(1)
22	128	中欄 20行	decrease 混んでいる	相互に矛盾している。 (英語と日本語訳の対応)	3-(1)
23	128	右欄 17行	エベニーザー・スクルージ	誤植である。 (二が漢字)	3-(2)
24	129	左欄 32行	動 フィギュアスケート	不正確である。 (品詞)	3-(1)
25	130	左欄 最終行	interesting 形おもしろい 他：132ページ左欄11行 名 計画	表記が不統一である。 (同欄33行intelligentの品詞は囲んである。)	3-(4)
26	137	最終行	cartds	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
27	138	1	3. Reductions	相互に矛盾している。 (2-13行の説明に照らして、Reductionsではない。)	3-(1)
28	138	4	Don' t youに付された太字及び下線	表記が不統一である。 (2行don' t youに照らして、太字及び下線が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 1 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻		本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (第2章第8節第3款「英語に関する各科目に共通する内容等」2ア(ア)に示す「700語程度の新語」)	2-(1)				
2	iv	文法 一覧	Lesson 2、3、9	表記が不統一である。 (本文に照らして、G-3がない。)	3-(4)				
3	1	側注 2行	donateの発音表記 他：90ページ側注4行decade	相互に矛盾している。 (第1強勢の位置と見出し語にある太字、斜体、下線との対応)	3-(1)				
4	4	側注 2行	overtimeの発音表記 他：5ページ側注4行nursing home/ 12ページ側注9行honeymooner/ 13ページ側注2行speedboat/ 18ページ側注6行solar system/	表記が不統一である。 (61ページ側注4行bedroomに照らして、第2強勢が付されていない。)	3-(4)				
			32ページ側注2行suitcase/側注3行 newcomer/側注5行health check/側注6 行hard-working/ 34ページ側注3行family name/ 48ページ側注4行businessman/側注8行						
			teammate/ 50ページ側注5行deadline/ 51ページ側注2行downside/ 56ページ側注7行firstborn/側注10行 police officer/						
			57ページ側注2行second-best/側注6行 outshine/ 58ページ側注2行overlook/ 60ページ側注2行lastborn/ 69ページ側注4行livestock/側注6行						
			body part/ 70ページ側注9行toothache/ 80ページ側注4行trash can/ 91ページ側注7行outside/ 106ページ側注3行night school/側注8						
			行graduate school/ 109ページ側注4行swell(up)/ 110ページ側注11行blackfly						
5	4	側注 4行	coworkerの発音表記 他：100ページ側注10行co-founder	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 2 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
6	4	側注 5行	situationの発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)				
7	4	側注 5行	situationの発音表記 他：11ページ側注2行promenade/ 44ページ側注13行expectation/ 49ページ側注6行corporation/ 57ページ側注4行dominating/	表記が不統一である。 (41ページ側注9行entertainに照らして、第2強勢が 付されていない。)	3-(4)				
			67ページ側注4行reproduce/ 70ページ側注5行decoration/ 98ページ側注10行recommend/ 101ページ側注3行optimistic/側注4 行attitude/側注6行pessimistic						
8	10	側注 6行	Napoleonの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)				
9	11	側注 2行	promenadeの発音表記	表記が不統一である。 (18ページ側注9行beyondの発音表記に照らして、第 1音節の母音表記が不統一)	3-(4)				
10	14	側注 10行	alterの発音表記 他：22ページ側注6行although	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				
11	15	23	並びかえ 他：28行/25ページ23行/ 35ページ30行/53ページ21行/ 103ページ25行/112ページ20行	誤記である。 (平仮名)	3-(2)				
12	17	1	A MAP TO THE UNIVERSE 他：18、20、22、24、26ページ右上タ イトルA Map to the Universe	相互に矛盾している。 (目次iiiページ10行ではレッスン名がA Map of the Universe)	3-(1)				
13	18	側注 3行	astronomicalにある太字及び斜体	相互に矛盾している。 (発音表記にある第1強勢との対応)	3-(1)				
14	18	写真	Figure 1	表記が不統一である。 (11行ではFig. 1と表記)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 3 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
15	20	10	Fig. 2	生徒にとって理解し難い表現である。 (Fig. 2と示されている写真がない。)	3-(3)				
16	20	脚注 1行	it takes light 4.3 years—光には4.3年かかる	生徒にとって理解し難い表現である。 (英語に対応する日本語訳が理解し難い。)	3-(3)				
17	22	側注 7行	11-visible 他：24ページ側注4行5-explore	誤りである。 (本文中の行数と合っていない。)	3-(1)				
18	27	1	THE ISLAND OF HOPE AND TEARS 他：28、30、32、34、36ページ右上タイトルThe Island of Hope and Tears	相互に矛盾している。 (目次iii ページ13行ではレッスン名がIsland of Hope and Tears)	3-(1)				
19	29	5	Sports are as fun as video games are (them). 他：38ページ7行/151ページ15行	相互に矛盾している。 (2行見出しでは「比較級」と表記)	3-(1)				
20	31	5	Tom(him)driving us home was very kind. 他：144ページ6行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文頭でHim drivingの形で使用できると誤解するおそれ)	3-(3)				
21	50	側注 7行	vitalの発音表記	表記が不統一である。 (91ページ側注9行huddleの発音表記に照らして、語末の表記が不統一)	3-(4)				
22	52	側注 8-9行	17-passionate 17-demand 他：60ページ側注2-3行/ 91ページ脚注2行/ 108ページ側注8-9行	誤記である。 (本文の出現順に並んでいない。)	3-(2)				
23	54	1 - 23	Optional Reading及びListening 他：87ページ最下行 人名/ 101ページ メール画面1行 メールアドレス	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (CHEERS等)	2-(7)				
24	57	6	which	誤植である。 (語末のh)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 4 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
25	63	26	~ever 他：73ページ29行	誤植である。 (~の位置)	3-(2)
26	68	側注 5行	[a]female	相互に矛盾している。 (本文9行ではfemaleは形容詞)	3-(1)
27	72	側注 13行	18-[an]effort 他：154ページ第1欄18行effort	誤りである。 (同ページ中がない。)	3-(1)
28	75	側注 1行	(look)alike	表記が不統一である。 (157ページ右欄30行ではlook alikeと表記)	3-(4)
29	76	側注 4行	Portugueseの発音表記 他：111ページ側注3行colleague	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
30	77	10	Will 他：146ページ15行	誤植である。 (語末のl)	3-(2)
31	78	囲み	カタカナに付された下線	生徒にとって理解し難い下線である。 (下線の位置)	3-(3)
32	78	脚注 3行	tend to	表記が不統一である。 (156ページ第2欄35行ではtend(to)と表記)	3-(4)
33	81	脚注 3行	the (Japanese) language-(日本)の言葉 他：22ページ脚注3行 [a]parent (galaxy)-母銀河/ 72ページ脚注1行 [a] (tiger) reserve-トラ保護区/	表記が不統一である。 (70ページ脚注3行[a] (skin)problem-(肌の)問題に 照らして、括弧の付け方が不統一)	3-(4)
			92ページ脚注1行 dressed in(black)-黒装束で		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 5 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
34	86	脚注 1行	2-it's my pleasure	表記が不統一である。 (本文2行目ではMy pleasure.)	3-(4)
35	88	側注 6行	employeeの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)
36	95	3	関係副詞のthat	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係詞thatの説明が不十分であるため、5-6行目の英文に照らして、thatの用法について理解し難い。)	3-(3)
37	100	脚注 3行	work on ways to...-~するための方法に取り組む	表記が不統一である。 (101ページ脚注3行ではwhat it takes to...-...するのに必要なものと表記)	3-(4)
38	106	脚注 1行	work as~-として働く	表記が不統一である。 (100ページ脚注2行ではhave trouble with~-~で苦労すると表記)	3-(4)
39	108	側注 12行	antibiotic 他：107ページ側注1行fascinate	表記が不統一である。 (側注10行laboratoryに照らして、第2強勢を示す斜体及び太字が付されていない。)	3-(4)
40	108	側注 13行	antibioticの発音表記	不正確である。 (二重母音)	3-(1)
41	110	側注 5行	ivermectinの発音表記	不正確である。 (見出し語の斜体及び太字に照らして、第1音節に第2強勢が付されていない。また、第3音節の子音表記が不正確である。)	3-(1)
42	141	2	communicationⅡ	表記が不統一である。 (同行CommunicationⅠに照らして、語頭が不統一)	3-(4)
43	142	20	動名詞	相互に矛盾している。 (19行17番の英文との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 6 枚目

受理番号 27-234		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
44	142	21 - 22	18番の英文に付された(CⅡ-L2, p13)	誤りである。 (13ページにない。)	3-(1)
45	143	27	keep 他：28行go/ 144ページ17行is thought that/19行 is believed that/21行is said that /23行is said that/24行is said to	表記が不統一である。 (本文中と異なる書体)	3-(4)
			have been/25行is believed/thought to have been/30行to be visited/ 145ページ5行being forced/9行is being destroyed/ 146ページ12行will be travelling/		
			18行had been working/25行may have noticed/29行should have studied/ 147ページ24行the thing which/ 148ページ4行how/24行Whatever/32 行Whenever/		
			149ページ4行It is Andromeda that is/6行It's problems here on Earth that we should solve/ 150ページ29行wouldn't/ 151ページ23行it/28行Omura's		
			students' hard work inspired him		
46	146	8	7. の太字	表記が不統一である。 (他の番号は細字で表記)	3-(4)
47	151	15	3番の英文に付された(CⅡ-L4, 29)	脱字である。 (14行では、p29と表記)	3-(2)
48	151	26	five minute	表記が不統一である。 (105ページ5行ではfive-minuteと表記)	3-(4)
49	159	25	cartds	誤りである。 (スペリング)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 27-235	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	iv	文法一覧	Lesson 1	表記が不統一である。 (本文に照らして、G-3がない。)	3-(4)
2	v		Word Mapに示されている新出単語数	Word Mapに示されている新出単語数は、学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (第2章第8節第3款「英語に関する各科目に共通する内容等」2ア(7) bに示す「700語程度の新語」)	2-(1)
3	3	側注2行	donate の発音表記	相互に矛盾している。 (第1強勢の位置と見出し語にある太字、斜体、下線との対応)	3-(1)
4	6	側注22行	overtime の発音表記 他：側注25行 loved one/ 7ページ側注3行 role model/ 側注5行 nursing home/ 17ページ側注10行 speedboat/	表記が不統一である。 (54ページ側注3行 businessman の場合に照らして、第2強勢が付されていない。)	3-(4)
			25ページ側注6行 solar system/ 26ページ側注10行 supercluster/ 36ページ側注5行 health check/ 37ページ側注5行 outsider/ 46ページ側注12行 boarding school/		
			55ページ側注8行 deadline/ 側注23行 otherwise/ 66ページ側注3行 situation/ 側注10行 overlook/ 側注26行 lastborn/ 67ページ側注10行 grown-up/		
			75ページ側注7行 subspecies/ 側注27行 reproduce/ 76ページ側注6行 livestock/ 側注12行 toothache/ 84ページ側注3行 writing system/ 側		
			注5行 loan word/ 86ページ側注13行 gas station/ 105ページ側注9行 sunlight/ 116ページ側注16行 blackfly		
5	16	側注15行	promenade の発音表記	表記が不統一である。 (25ページ側注12行 beyond の発音表記に照らして、第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)
6	16	側注15行	promenade の発音表記 他：47ページ側注3行 expectation/ 55ページ側注19行 corporation/ 65ページ側注7行 personality/ 85ページ側注4行 somehow/	表記が不統一である。 (7ページ側注22行 contribution の場合に照らして、第2強勢が付されていない。)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-235		学校 高等学校		教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			87ページ側注11行 politician/ 104ページ側注13行 appreciate/ 106ページ側注2行 meditate/ 107ページ側注9行 pessimistic/ 114ページ側注9行 application			
7	17	側注 15行	alter の発音表記	表記が不統一である。 (75ページ側注5行 stalk の発音表記に照らして、 第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)	
8	22	16	関係副詞 that	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係詞thatの説明が不十分であるため、18-19行目の 英文に照らして、thatの用法について理解し難い。 。)	3-(3)	
9	32	5	Tom (him) driving us home was very kind. 他：151ページ1行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文頭でHim drivingの形で使用できると誤解するお それ)	3-(3)	
10	32	14	Sports are as fun as video games are (them). 他：159ページ11行	相互に矛盾している。 (8行見出しでは「比較級」と表記)	3-(1)	
11	38	20	Finish the sentences according to part 4.	不正確である。 (本文ではpart 3で言及)	3-(1)	
12	43	右下キ ャプ ション	who studied piano with a	不正確である。 (文が完結していない。)	3-(1)	
13	47	脚注 11行	Bob Cratchit	表記が不統一である。 (13行Tiny Timの場合と強勢表記が不統一)	3-(4)	
14	50	14	b. to be a good person and help others who don't have much money.	誤りである。 (b ではない。)	3-(1)	
15	55	側注 9行	vital の発音表記	表記が不統一である。 (113ページ側注6行 mentalの発音表記に照らして、 語末の表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 27-235		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
16	55	側注 23行	otherwise の発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)
17	60	1 - 23	Optional Reading及びListening, Writing, Speaking 1 他：91ページ最下行 人名/ 107ページ メール画面1行 メールアド レス	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (CHEERS等)	2-(7)
18	66	側注 3行	situation の発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)
19	84	側注 7行	Portugueseの発音表記 他：117ページ側注7行 colleague	不正確である。 (母音表記が不正確)	3-(1)
20	85	囲み 3行	model の発音表記	表記が不統一である。 (7ページ 側注2行 modelの場合と不統一)	3-(4)
21	85	囲み	カタカナに付された下線	生徒にとって理解し難い下線である。 (下線の位置)	3-(3)
22	85	枠内 1行	chocolateの発音表記 他：3行 sausage	不正確である。 (第1音節の母音表記が不正確)	3-(1)
23	86	右下囲 み 4行	Velcro	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
24	87	28	フォー カス	誤植である。 (スペース)	3-(2)
25	109	2 - 3	I returned home. Then, I had dinner. Having _____	指示文と相互に矛盾している。 (指示文では動名詞を用いた書き換えを想定)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-235		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
26	114	19	and he decided to accepted the job	誤りである。 (文法)	3-(1)
27	115	側注 4行	fascinate の発音表記 他：11行 laboratory	表記が不統一である。 (16行 antibiotic に照らして、第2強勢を示す斜体及び太字が付されていない。)	3-(4)
28	115	側注 17行	antibiotic の発音表記	不正確である。 (二重母音)	3-(1)
29	116	側注 3行	ivermectin の発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)
30	120	17	Is might that idea be bad?	誤りである。 (文法)	3-(1)
31	148	2	communicationⅡ	表記が不統一である。 (同行Communication Iに照らして、語頭が不統一)	3-(4)
32	170	25	cartds	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
33	171	1	3. リダクション	相互に矛盾している。 (2-14行の説明に照らして、リダクションではない。)	3-(1)
34	171	4	Don' t youに付された太字及び下線	表記が不統一である。 (2行目 don' t you に照らして、太字及び下線が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-237	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	34	側注 23行	Henri Riviereの発音表記	表記が不統一である。 (側注21行Vincent van Goghと強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)
2	41	脚注 3行	2005年に七大陸最高峰登頂最年少記録を樹立	不正確である。 (2005年)	3-(1)
3	120	右上	[make]	生徒にとって理解し難い表現である。 (makeが何を意味するのか理解し難い。)	3-(3)
4	131	3	Which of the following is best describes the saying?	不正確である。 (is)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-238	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻		本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (第2章第8節第3款「英語に関する各科目に共通する内容等」2ア(ア)に示す「700語程度の新語」)	2-(1)
2	61	側注 6行	unappealingの発音表記	不正確である。 (第1音節に第2強勢が付されていない。)	3-(1)
3	66	側注 3行	Favio Chavezの発音表記	表記が不統一である。 (64ページ側注10行James McManusの発音表記に照らして、強勢表記が不統一)	3-(4)
4	66	側注 11行	パラグアイの首都名の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
5	66	側注 14行	Paraguayの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)
6	163	2	WORLD TREK I	特定の書籍の宣伝になるおそれがある。 (WORLD TREK)	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-239	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	56		Communication Activity B (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (島の説明が不十分で、空所に何を答えればよいのか不明確)	3-(3)
2	75	手紙	Dear Tom, の位置	表記が不統一である。 (127ページの手紙の Dear の位置と不統一)	3-(4)
3	82	側注 17行	perの発音表記 他：197ページ左欄40行	不正確である。 (弱形に強勢表記が付されており、不正確)	3-(1)
4	折込み	Sou ndAdvi	「子音と母音の音連続」の段 5-9行, 12-13行 発音例	相互に矛盾している。 (発音例と例文が相互に矛盾)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-240		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	11	側注 4行	Rogerの発音表記 他：29ページ側注5行comment/ 121ページ脚注2行Sofronie/ 150ページ側注2行consequently/ 182ページ脚注2行Potter	表記が不統一である。 (裏見返Ⅶページ母音左3段目の見出し発音表記と不統一)	3-(4)				
2	27	側注 7行	reputationの発音表記	表記が不統一である。 (裏見返Ⅶページ母音左5段目の見出し発音表記と不統一)	3-(4)				
3	58	脚注 2行	separateの発音表記	相互に矛盾している。 (本文9行の品詞と発音表記が対応していない。)	3-(1)				
4	79	グラフ	Results of the “Sweaty T-Shirt Study” のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
5	89	側注 13行	Sagradaの発音表記	不正確である。 (強勢の位置及び母音表記)	3-(1)				
6	92	側注 12行	part-timeの発音表記 他：144ページ下囲み2行artificially	表記が不統一である。 (裏見返Ⅶページ母音右3段目の見出し発音表記と不統一)	3-(4)				
7	109	6	20 m	誤植である。 (スペース)	3-(2)				
8	119	11	the DVD, “Letters from Iwojima.” 他：写真キャプション “Letters from Iwojima”	表記が不統一である。 (151ページでは作品名The Terminatorを斜体で表記)	3-(4)				
9	134	側注 6行	consequenceの発音表記	不正確である。 (強勢の位置)	3-(1)				
10	144	下囲み 6行	advanceの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-240	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	168	側注 2行	sociologistの発音表記	表記が不統一である。 (裏見返Ⅶページ母音左1段目の見出し発音表記と不統一)	3-(4)
12	176	写真左 1-2行	2009年9月、バラク・オバマ(Barack Obama)前アメリカ合衆国大統領	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オバマ大統領が2009年9月時点で現職の大統領ではないかのように誤解するおそれ)	3-(3)
13	179	脚注 1行	Michelle Obamaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
14	191	左欄 2-4行	have A down for B 124 have A in(one's)mind 55 have+0+過去分詞 91	誤りである。 (初出ページ)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-241	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻		本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (第2章第8節第3款「英語に関する各科目に共通する内容等」2ア(ア) bに示す「700語程度の新語」)	2-(1)
2	84	脚注 1行	Sagradaの発音表記	不正確である。 (強勢表記が不正確)	3-(1)
3	140	脚注 2行	ターミネーター	表記が不統一である。 (143ページ1行とタイトル表記が不統一)	3-(4)
4	195	第2欄 18行	hospice 38	誤りである。 (初出ページ)	3-(1)
5	195	第3欄 38行	mentality 120	誤りである。 (初出ページ)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-242		学校 高等学校		教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	11	網掛け 2行	例文中の先行詞に付された下線 他：13ページ網掛け5行	表記が不統一である。 (13ページ網掛け2行の場合と範囲が不統一)	3-(4)	
2	16	側注 2行	Tyrannosaurus の発音表記	不正確である。 (示された語の表記として不正確)	3-(1)	
3	20	左下囲み 3行	hour の発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
4	26	2 - 3	数えられない名詞には、固有名詞、物質名詞、抽象名詞、集合名詞の一部も「数えられない名詞」として使われ、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「一部」のかかる範囲が不明確であり、文の意味を誤解するおそれ)	3-(3)	
5	28	側注 4行	neutral の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
6	32	側注 5行	friendlinessの発音表記	不正確である。 (弱音に強勢表記が付されている。)	3-(1)	
7	41	網掛け 6行	=and make a large stain	不正確である。 (時制)	3-(1)	
8	48	24	differences	不正確である。 (Review 3 の空欄に入れるための選択肢として不正確)	3-(1)	
9	57	吹き出し 2行	関係名詞	誤りである。 (用語の誤り)	3-(1)	
10	63	12	understand a Japanese culture	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 27-242		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	69	側注 9行	sea weed	表記が不統一である。 (68ページ12行では、seaweed)	3-(4)
12	70	左下囲 み2-3 行	綴り字がwaで始まる語は・・・と発音 します。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (一つの発音しかないかのように誤解するおそれ)	3-(3)
13	71	6	eat for portable meal	英語の現代慣用によっていない。 (可算名詞の扱い)	固有 2-(1)
14	72	Sou ndTips	枠内の説明	相互に矛盾している。 (側注3行 prosperous の場合と母音表記が異なる。)	3-(1)
15	74	側注 7行	widen(ed)の発音表記	不正確である。 (二重母音の表記が不正確)	3-(1)
16	77	18	これらの車は、近い将来外国で使われ ることになるでしょう。	相互に矛盾している。 (19行英文中には、「外国で」に相当する部分が示 されていない。)	3-(1)
17	80	下右 団体名	Animal Guradians	不正確である。 (スペリング)	3-(1)
18	82	側注 13行	pollute(ing)	表記が不統一である。 (122ページ側注13行stabilize, stabilizingの場合 と表記が不統一)	3-(4)
19	84	Sou ndTips	let us listen	生徒にとって理解し難い表現である。 (12ページのSound Tipsの説明では、語末の子音と 次の語頭の母音は音をつなげて発音するとあり、理 解し難い例である。)	3-(3)
20	94	Sou ndTips	語末が子音で、次の語頭も子音の場合 , 前の語末の子音は発音されません。 during my,	不正確である。 (説明と例)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 27-242		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	98	12	I believes	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)				
22	101	13	My dream have	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)				
23	101	17	realize	誤りである。 (時制)	3-(1)				
24	111	Foc us on	(..., and then she told ~)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (元の英語の文意を誤解するおそれ)	3-(3)				
25	116	14	On day, on the way to school,	英語の現代慣用によっていない。 (On day)	固有 2-(1)				
26	117	22 - 23	Look at the results of a survey (asked / about/ people / in / we / which / elderly) about their lives.	不正確である。 (括弧内の語を並べかえても、与えられた日本語を 表す英文にならない。)	3-(1)				
27	124	側注 17行	facade(s) の発音表記	相互に矛盾している。 (見出しの形と合っていない。)	3-(1)				
28	126	側注 11行	related の発音表記	相互に矛盾している。 (見出しの形と合っていない。)	3-(1)				
29	126	Sou nd Tips	allow の母音の説明	不正確である。 (二重母音の説明として不正確)	3-(1)				
30	128	9	Advantages and disadvantage	英語の現代慣用によっていない。 (数の不一致)	固有 2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-242		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	133	1	about the patient	相互に矛盾している。 (2行目では、「その参加者について」と記述)	3-(1)				
32	136	21	Fill in the banks	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
33	150	5	Here you see can	誤りである。 (文法)	3-(1)				
34	154	脚注 1行	affluent の発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)				
35	154	脚注 3行	offspring の発音表記	表記が不統一である。 (4ページ母音10段目の場合と第1音節の表記が不統一)	3-(4)				
36	157	6 - 7	ミツバチの疾走により,	誤記である。 (漢字)	3-(1)				
37	159	18 - 19	接客業をAIが搭載されたに機械やロボットに任せる企業が増えてきている。	誤記である。 (平仮名)	3-(1)				
38	159	脚注 1行	scholar 学者の	不正確である。 (英語と日本語の対応)	3-(1)				
39	160	3	NEW FLAG II 他：NEW FLAG I	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
40	裏見返し右	4	men 他：17行 (2箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (menの意味について誤解のおそれ)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-243		学校 高等学校		教科 外国語	科目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	15	6	Maybe thatの上	表記が不統一である。 (4行目the way上のG3の表記に照らして、18ページG2との対応が示されていない。)	3-(4)	
2	16	大問B	⑨の答えとなるcalculation	表記が不統一である。 (大問Aの3番Cでは、calculationsと表記)	3-(4)	
3	28	側注 5行	microdotの発音表記	表記が不統一である。 (側注9行dotに照らして、第3音節の母音表記が不統一)	3-(4)	
4	31	17	文頭の副詞語句や接続語句は、下降して軽く上昇させるイントネーションを使います。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文頭の副詞語句や接続語句では常に下降上昇調にすると誤解するおそれ)	3-(3)	
5	48	Q1	A～Dの図	178ページ左欄Listening&Speaking①スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (A～Dの図が全て同じであるため、解答できない。)	固有 1-(3)	
6	48	Q2	Exampleの英文	相互に矛盾している。 (Map Cとの対応)	3-(1)	
7	60	19	on whether you agree or notの文字の色	表記が不統一である。 (18行about how life behavesの場合に照らして、英文の赤文字部分が不統一)	3-(4)	
8	63	最下行	Sawer	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
9	74	側注 5行	time-consumingの発音表記	表記が不統一である。 (139ページ側注8行consumeに照らして、consuming第2音節の母音表記が不統一)	3-(4)	
10	91	下囲み Q5	What increase the stress of waiting?	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-243		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	95	下囲み 5行	Huston	誤りである。 (地名のスペリング)	3-(1)
12	108	大問B 4行	(③)animal intelligence.	相互に矛盾している。 (語群に③の答えとなる語がない。)	3-(1)
13	111	大問A 5番	She is usually quite,	誤りである。 (quiteではない。)	3-(1)
14	115	キャプ ション	葛飾北斎	表記が不統一である。 (116ページ脚注2行の場合と不統一)	3-(4)
15	115	脚注 1行	refers toの文字の色	表記が不統一である。 (脚注2行came acrossの場合に照らして、見出しに 対応する英文の赤字部分が不統一)	3-(4)
16	117	5	Koinobori	表記が不統一である。 (122ページ大問A2番cでは、koinoboriと表記)	3-(4)
17	120	側注 9行	Henri de Toulouse-Lautrecの発音表 記	不正確である。 (見出し語との対応)	3-(1)
18	122	大問A 4番	Which statement is true?	相互に矛盾している。 (本文に照らして、該当する答えが複数ある。)	3-(1)
19	137	脚注 3行	no objection about the plan	英語の現代慣用によっていない。 (objectionとともに用いる前置詞)	固有 2-(1)
20	162	Q2 囲み	recoded	誤りである。 (スペリング)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-243		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	170	脚注 1行	affluentの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)				
22	170	脚注 3行	offspringの発音表記	表記が不統一である。 (4ページ母音10段目の発音表記に照らして、第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)				
23	175	22	Pepper	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Pepper)	2-(7)				
24	175	脚注 1行	scholar 学者の	不正確である。 (英語と日本語の対応)	3-(1)				
25	185	中欄 16-17 行	puzzleとquarrelの間	誤りである。 (Qの見出しがない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-244		学校 高等学校		教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3 目次	9	Optional 2 Todd's Saturday 2	誤りである。 (本文ではReading Skill 7とLesson 8の間にOptional 2はない。)	3-(1)	
2	6	側注 2行	blossomの第1音節の母音の発音表記	表記が不統一である。 (54ページ側注12行bottomの場合と不統一)	3-(4)	
3	10	側注 3行	propertyの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
4	11	手紙 1行	trees,	誤記である。 (コンマ)	3-(2)	
5	12	Phrases 1行	He donates his old books to the library	脱字である。 (ピリオドがない。)	3-(2)	
6	14	大問1 2.	Eliza Scidmore returned Washington, D.C.	不正確である。 (前置詞がない。)	3-(1)	
7	14	大問2 の1行	((①), the cherry trees in West Potomac Park ...	生徒にとって理解し難い括弧である。 (括弧に何を入れてよいのか不明確)	3-(3)	
8	23	側注 Q3	What hat has made many people interested in his balloon camera?	不正確である。 (hat)	3-(1)	
9	26	SoundTips	diameterに引かれた下線	不正確である。 (下線の位置)	3-(1)	
10	38	SoundTips	アメリカ英語で[...]と発音される語	表記が不統一である。 (54ページ側注12行bottomの第1音節の母音と不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-244		学校 高等学校		教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	40	Phrases2 行	l.4 thanks to ~	誤りである。 (4行ではない。)	3-(1)	
12	41	11	a long distances	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)	
13	44	SoundTips	[e]の構え(舌先が見えるまで歯と歯の間から出す位置)	相互に矛盾している。 (当該発音表記とその説明が相互に矛盾)	3-(1)	
14	45	6	by scientist	不正確である。 (名詞の形)	3-(1)	
15	46	大問2 の2行	which are low in salt	不正確である。 (動詞の形)	3-(1)	
16	47	1 - 2	The Internet enabled us to get information easily. 私たちはインターネットで情報を簡単に得ることができる。	相互に矛盾している。 (英語と日本語訳との対応)	3-(1)	
17	48	大問1 4.	Mt. Fuji () () () () very well from here.	生徒にとって理解し難い問いである。 (助動詞+受け身を使った想定される答えと括弧数が合わず理解し難い。)	3-(3)	
18	59	側注 Q8	Why don't only very few baby sea turtles survive in Yakushima?	生徒にとって理解し難い問いである。 (本文に質問の答えに該当する記述がない。)	3-(3)	
19	62	大問2 の2行	live there	生徒にとって理解し難い表現である。 (thereが何を指すのかが不明確)	3-(3)	
20	62	大問2 の5行	After baby sea turtles were born, they start to move ...	不正確である。 (時制)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 27-244		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	76	SoundTips	flour, powder	不正確である。 (見出しの発音表記の例として不正確)	3-(1)
22	82	大問2の2行	companies has the power	不正確である。 (動詞の形)	3-(1)
23	84	大問3 2.	ウミガメに関しては多くの研究がされてきている。 There () () considerate research on sea turtles.	相互に矛盾している。 (日本語と英語の対応)	3-(1)
24	84	大問3 4.	明日は彼の誕生日があります。 There () () his birthday party tomorrow.	英語の現代慣用によっていない。 (想定される答えThere (will) (be) の後が特定の主語になっている。)	固有 2-(1)
25	96	Phrases1 行	praised at my attitude	不正確である。 (前置詞)	3-(1)
26	96	SoundTips	denied or	生徒にとって理解し難い例である。 (10ページのSound Tipsの説明では[d]と次の母音はつなげて発音するとあり、理解し難い例である。)	3-(3)
27	98	大問2の6-7行	We should use your (⑦)	不正確である。 (We)	3-(1)
28	98	大問2の8行	It is important to know the (⑩) of the phrase	生徒にとって理解し難い括弧である。 (括弧に何を入れてよいのか不明確)	3-(3)
29	114	大問1 1.	1.の選択肢	生徒にとって理解し難い選択肢である。 (どの選択肢が正解なのかが不明確)	3-(3)
30	122	Phrases1 行	in a row: People stand in line to wait for the train.	相互に矛盾している。 (見出し語と例文の対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 27-244		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	122	Phrases2 行	have relation with	表記が不統一である。 (例文のa relationと不統一)	3-(4)
32	123	22	Roomba 他：134ページ13行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Roomba)	2-(7)
33	131	16	one more days	不正確である。 (one moreに続く名詞の形)	3-(1)
34	136	脚注 1行	get arrest	表記が不統一である。 (本文12行get arrestedと不統一)	3-(4)
35	142	右 上 図	Congoの第1音節の母音の発音表記	表記が不統一である。 (側注9行concreteの場合と不統一)	3-(4)
36	143	4 - 5	Ray Ban sunglasses 他：154ページ3行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Ray Ban)	2-(7)
37	144	1 - 2	what does a true gentleman must acknowledge?	不正確である。 (must)	3-(1)
38	149	側注 Q13	What might their faith and pride might be?	不正確である。 (2番目のmight)	3-(1)
39	150	大問2	指示文 他：166ページ大問2指示文	不正確である。 (括弧内に入る語を必要であれば適切な形にするように指示していない。)	3-(1)
40	152	大問3	問4.	誤りである。 (選択肢がない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 27-244		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	164	Phrases1 行	Wao	生徒にとって理解し難い表現である。 (品詞が不明確で理解し難い。)	3-(3)
42	166	大問1 2.	Larry happened a better way of ranking webpages	英語の現代慣用によっていない。 (happenedが他動詞として用いられている。)	固有 2-(1)
43	169	Dis cussio	2, 3行 internet	表記が不統一である。 (165ページ16行Internetと不統一)	3-(4)
44	171	Tru e or F	3行 PhD.	表記が不統一である。 (本文13行Ph. D. と不統一)	3-(4)
45	172	下 囲 み1行	affluentの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音の発音表記)	3-(1)
46	172	下 囲 み2行	offspringの第1音節の母音の発音表 記	表記が不統一である。 (22ページ側注10行softenの場合と不統一)	3-(4)
47	177	21	Pepper	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Pepper)	2-(7)
48	177	脚注 3行	scholar 学者の	不正確である。 (英語と日本語の対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-245		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	目次	5	On the way to School	表記が不統一である。 (15ページのレッスンタイトルと不統一)	3-(4)				
2	5	吹き出し2行	「には英語を書く」の前のスペース	生徒にとって理解し難いスペースである。 (どこに英語を書いてよいのか不明確)	3-(3)				
3	16	脚注1行	make effort to	表記が不統一である。 (本文3行のeffortsは可算名詞)	3-(4)				
4	18	側注8行	smoothlyの発音表記	表記が不統一である。 (側注10行cheerfulの場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)				
5	24	5	tea drinking	表記が不統一である。 (4行tea-growingとハイフンの付け方が不統一)	3-(4)				
6	24	側注6行	chaの発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)				
7	24	側注7行	chaiの発音表記 他: 側注8行 te	表記が不統一である。 (側注1行teaの発音表記には強勢表記がない。)	3-(4)				
8	58	3	4. (T / F)	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトの内容から選択肢を選ばない。)	固有 1-(3)				
9	64	側注1行	progeria	表記が不統一である。 (本文1行ではProgeria)	3-(4)				
10	64	側注2行	progeriaの発音表記	表記が不統一である。 (42ページ側注5行bearer(s)の場合と不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-245		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	65	17	most people	表記が不統一である。 (64ページ4行most people'sと不統一)	3-(4)				
12	65	21	“No one is perfect” 他：22行	誤記である。 (ピリオドがない。)	3-(2)				
13	84	4	'grilled beef	誤記である。 (後ろのシングルクォーテーションマークがない。)	3-(2)				
14	85	タイトル	Do You Know about Child Soldiers?	表記が不統一である。 (87ページ右上のタイトルと不統一)	3-(4)				
15	92	3	Michel was ... when he was playing ... with his friends.	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトと異なる。)	固有 1-(3)				
16	103	表	チョコレート生産国と消費国の表	学習上必要な出典と年次が示されていない。	2-(10)				
17	104	6 - 8	They don't know (the way) how chocolate is made. We want to know (the reason) why the children have to work.	生徒が誤解するおそれのある括弧である。 (括弧についての説明がなく、2文とも先行詞と関係副詞が併用できると誤解するおそれ)	3-(3)				
18	106	右上	アンは、マッシューとマリラのために何をしましたか。 What was Anne for Matthew and Marilla?	相互に矛盾している。 (英語と日本語訳との対応)	3-(1)				
19	106	側注 3行	Marillaの発音表記	表記が不統一である。 (16ページ側注6行Salomeの場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)				
20	108	5	She	誤記である。 (大文字で始まっている。)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-245		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	112	6	You won't have to stay here.	表記が不統一である。 (108ページ6行You won't have to stay here aloneと不統一)	3-(4)				
22	113	下 囲 み2行	If I got a free ticket to buy anything, what would you buy?	生徒にとって理解し難い表現である。 (I)	3-(3)				
23	113	下 囲 み6-10 行	If I would buy ... because ... (3箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (If)	3-(3)				
24	116 - 117		My Favorite Things	著作権法上必要な出所が示されていない。	2-(10)				
25	122	1	Garbitch	表記が不統一である。 (118ページ下 枠 Garbitschと不統一)	3-(4)				
26	123	側注 2行	conquerの発音表記	不正確である。 (第1音節の発音表記)	3-(1)				
27	125	7	Hunnah	表記が不統一である。 (1行Hannahと不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-246		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	17	3	「世界の果ての通学路」 他：27ページ3行「世界の果ての通学路」 / 135ページ4行「独裁者」 / 138ページ 脚注1行「独裁者」	表記が不統一である。 (136ページ脚注3行では、タイトル名を二重カギ括弧で表記)	3-(4)
2	24	側注 6行	wheelchairの強勢表記 他：側注 8行 paralyze(d)	不正確である。 (2箇所にて第1強勢)	3-(1)
3	24	側注 14行	brotherhood の発音表記	不正確である。 (thに相当する部分)	3-(1)
4	28	8	coach	生徒が誤解するおそれのある表である。 (イギリスではbusという語が用いられないかのよう に誤解するおそれ)	3-(3)
5	34	7	all of them spoke her	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)
6	44	側注 22行	Charlesの発音表記 他：72ページ側注4行 Gogh/ 127ページ側注3行 John/ 144ページ側注16行 Luke	表記が不統一である。 (136ページ側注13行 Charlesの場合と不統一)	3-(4)
7	46	29	due to the global warming	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
8	48	11	Tar-baby	表記が不統一である。 (側注4行 Tar-Baby と表記が不統一)	3-(4)
9	48	側注 7行	lippity-clippity の発音表記	不正確である。 (tに相当する部分の表記)	3-(1)
10	51	側注 3行	brier-patchの発音表記	表記が不統一である。 (87ページ側注10行co-worker(s)の場合と第2強勢表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-246		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	58	脚注 7行	come to one's sense	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の数)	固有 2-(1)				
12	58	側注 3行	Marshall	不正確である。 (子音表記)	3-(1)				
13	60	側注 12行	conduct(ed) の発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)				
14	62	側注 1行	contract の発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)				
15	75	側注 4行	portray(ing) の発音表記	不正確である。 (括弧内)	3-(1)				
16	81	10	kubuki	不正確である。 (スペリング)	3-(1)				
17	92	14	green mountains in Korean	表記が不統一である。 (87ページ7行では、'green mountains in Korea')	3-(4)				
18	98	グラフ	グラフ 他：101ページ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
19	108	側注 7行	George の発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)				
20	108	脚注 1行	Why don't do that	表記が不統一である。 (16行では、Why don't you do that)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-246	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	122	側注 4行	biologistの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
22	127	側注 3行	John F Kennedy	表記が不統一である。 (脚注1行 John F. Kennedyと表記が不統一)	3-(4)
23	136	側注 12行	Caplin	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
24	136	脚注 3行	City Light	誤りである。 (作品名)	3-(1)
25	140	5	Now we face new crisis,	英語の現代慣用によっていない。 (可算名詞)	固有 2-(1)
26	150	側注 9行	curiousの発音表記	表記が不統一である。 (75ページ側注15行 European(s)の場合と第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 27-247	学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	-----------------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	4	脚注 1行	hometownの発音表記	表記が不統一である。 (122ページLesson1語注1行の場合と強勢表記が不統一)	3-(4)
2	8	7	maple syrup festivals	表記が不統一である。 (7ページ5行目では、maple festivalsと表記)	3-(4)
3	38	グラフ	The number of foreign visitors to Japanのグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
4	85	脚注 3行	really 他：87ページ脚注4行great/ 94ページ脚注4行really/脚注5行power	不正確である。 (文脈に照らして、強勢が付されていない。)	3-(1)
5	86	側注 25行	Tom Cruiseの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)
6	86	写真キャプション	ラスト サムライ	表記が不統一である。 (117ページでは作品名を『王様と私』と表記)	3-(4)
7	118	下囲み 中段	generated 発注する	相互に矛盾している。 (英語に対応する日本語訳)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 27-248		学校 高等学校		教科 外国語		種目 コミュニケーション英語Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	2	目次	Lesson 5 のページ数 他：3ページ Lesson 6, 7のページ数	誤りである。 (本文のページ数と合っていない。)	3-(1)				
2	30	側注 4行	kilogramの発音表記 他：36ページ脚注1行kidnap(ped)／ 40ページ側注10行roommate／ 52ページ側注19行butterfly／	表記が不統一である。 (25ページ脚注1行homestayの場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)				
			52ページ側注21行footstep(s)／ 72ページ側注18行livestock／ 84ページ側注4行eyelid(s)／ 124ページ側注6行soybean(s)／ 128ページ側注5行biogas／						
			128ページ側注12行firewood／ 134ページ脚注1行Stonehenge						
3	48	Sum Up 2行	In 2008, Barack Obama became ... of the United States.	生徒にとって理解し難い空所である。 (空所に何を入れてよいのか不明確)	3-(3)				
4	59	Che ckIt2 行	What percent of the Japanese traveled up to 10 days abroad?	生徒にとって理解し難い問いである。 (本文に質問の答えに該当する記述がない。)	3-(3)				
5	59	Exp ressIt	㊦	相互に矛盾している。 (㊦と会話内容が相互に矛盾)	3-(1)				
6	80	Wor kToget	B. He drew this it	不正確である。 (this it)	3-(1)				
7	88	側注 13行	stimulateの発音表記 他：16ページ側注2行vocabulary／ 32ページ側注2行possibility／ 53ページ側注5行phonograph／	表記が不統一である。 (70ページ側注15行fascinate(d)の場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)				
			58ページ側注17行friendship／ 62ページ側注11行anticipate／ 64ページ側注6行appreciate／ 86ページ側注2行paralyze(d)／ 86ページ側注10行recognize／						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 27-248		学校 高等学校	教科 外国語	種目 コミュニケーション英語Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			90ページ側注10行 graduate(d) / 98ページ側注11行 identified / 98ページ側注16行 satellite(s) / 100ページ側注8行 helicopter(s) / 102ページ側注2行 ordinary /		
			116ページ側注7行 hardship / 116ページ側注11行 relationship(s) / 128ページ側注19行 fertilizer(s) / 140ページ側注12行 attitude /		
8	98	側注 9行	detail(ed)の発音表記	表記が不統一である。 (側注2行functionの場合と強勢表記の付け方が不統一)	3-(4)
9	112	脚注 1行	It	表記が不統一である。 (14行目ではit)	3-(4)
10	112	脚注 2行	『パッチ・アダムズ』	表記が不統一である。 (写真のキャプションでは『パッチ・アダムズ』)	3-(4)
11	112	脚注 2行	1989年	誤りである。 (1989年ではない。)	3-(1)
12	125	Stu dyGram	If the result does not ends	誤りである。 (does notに続く動詞の形)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-171		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻		全巻	学習指導要領の内容に示す事項を取り上げていない。 （学習指導要領第2章第8節第2款第5の2内容(2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。」）	1-(3)				
2	全巻		全巻	学習指導要領の内容に示す事項を取り上げていない。 （学習指導要領第2章第8節第2款第5の2内容(2)ウ「発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。」）	1-(3)				
3	全巻		全巻	学習指導要領の内容に示す事項を取り上げていない。 （学習指導要領第2章第8節第2款第5の2内容(2)エ「聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。」）	1-(3)				
4	全巻		Listening One 7, 15, 23, 31, 39, 49, 57, 65, 73, 81, 91, 99, 107ページ Listening Two	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （学習指導要領第2章第8節第2款第5の3内容の取扱い(1)「中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。」とあるが、話したり書いたりする言語活動よりも聞くことの言語活動が図書の中心となっている。）	2-(1)				
			12, 20, 28, 36, 44, 54, 62, 70, 78, 86, 96, 104, 112ページ Speaking Activities 7, 15, 23, 31, 39, 49, 57, 65, 73, 81, 91, 99, 107ページ						
			Exercise One 大問5 9, 17, 25, 33, 41, 51, 59, 67, 75, 83, 109ページ						
			Exercise Two 大問5 11, 19, 27, 35, 43, 53, 61, 69, 77, 85, 95, 111ページ						
			Watch and Discuss “I Am Sam” 46-47ページ Watch and Discuss “HUGO” 88-89ページ						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-171		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
5	全巻		Director's Cut 13, 21, 29, 37, 45, 55, 63, 71, 79, 87, 97, 105, 113ページ	文法について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。 (学習指導要領第2章第8節第3款3イ「文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。」)	固有 1-(2)	
6	全巻		Exercise One 大問4 25, 33, 41, 51, 59, 67, 83, 109ページ Exercise Two 大問4 19, 27, 35, 43, 69, 77, 85, 111ページ	学習指導要領に照らして、扱いが不適切である。 (学習指導要領第2章第8節第3款1「英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては、例えば、次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から、各科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ、有機的に組み合わせて活用する。」)	2-(1)	
7	全巻		Speaking Activities 23, 49, 57, 65, 73, 81, 91ページ Exercise One 大問5 109ページ	生徒にとって理解し難い活動である。 (どのように表現するのかの手立てが不十分で理解し難い。)	3-(3)	
8	6	17	手書きのyourのrの文字 他：7ページ6行liveのv 12ページ9行Singaporeのr 20ページ9行hourのr 23ページ11行Englishのs	生徒にとって理解し難い文字である。 (つづりが不明確)	3-(3)	
			30ページ13行motherのr 38ページ12, 30行sometimesのs 38ページ15行neverのv, r 39ページ8行soccerのs, r			
9	14	図	絵	生徒にとって理解し難い絵である。 (立方体の前後左右が不明確)	3-(3)	
10	49	Task Two	3. All those cars ... were 他：96ページ Task Two 2. go to a temple or ... to	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトと異なる。)	固有 1-(3)	
11	81	Task One	There are three extra symbols. ただし、会話とは無関係の絵が三つあります。	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトの会話内容と無関係の絵は三つではない。)	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 28-171		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
12	87	CLA PPERBO	Question 1. の問い	生徒にとって理解し難い問いである。 (本文に照らして、問いの意味が不明確)	3-(3)
13	106		Traveling Abroad by Airplane (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (必要な手続きには個人差があるものが含まれており、理解し難い。)	3-(3)
14	134	8	rubgy 他：10行	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
15	134	31 - 32	オ. When you visit my school, カ. This book is easy to read, に付されたコンマの後の矢印	生徒にとって理解し難い矢印である。 (どの語を下降・上昇して読むのか不明確)	3-(3)
16	135	16 - 17	「暗いエル」(cool/wild)は、発音し 終えてから舌先が歯茎にあたります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該子音の発音方法として一般的でなく理解し難い。)	3-(3)
17	135	42 - 43	eで終わる単語の2文字目のスペルaの 発音は、アルファベットの通りの読み でA(エイ)と発音します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「eで終わる単語の2文字目のスペリングは常にaになる。」と誤解するおそれ)	3-(3)
18	136	左欄 3行	thinkの発音表記	不正確である。 (母音の後の子音表記)	3-(1)
19	136	左欄 4行	tooth 他：右欄20行warm	不正確である。 (見出しの発音表記の例として不正確)	3-(1)
20	136	左欄 8行	casualの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
21	136	左欄 11行	penの母音の発音表記 他：左欄13行tell	表記が不統一である。 (右欄2行redの場合と不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 28-171	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
-------------	---------	--------	-----------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
22	136	左欄 16行	getの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
23	136	左欄 17行	chat	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
24	136	右欄 9行	loftの発音表記 他：右欄14行coin	不正確である。 (子音表記の脱落)	3-(1)
25	136	右欄 15行	southの発音表記 他：右欄17行youth	不正確である。 (語末の子音表記)	3-(1)
26	136	右欄 22行	cureの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-174		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	脚注	熟語	表記が不統一である。 (x ページ27-30行「ページ下部の脚注に示される新出単語・熟語には、下線の引かれた太字斜体で表記されている部分があります。これは、そこにアクセントを置くことを意味しています」に照らして、表	3-(4)	
				記が不統一)		
2	iv	10	3. ~のスペルはどのように書きますか。 。	相互に矛盾している。 (吹き出し3 How do you spell that?との対応)	3-(1)	
3	ix	5 - 6	各種英語試験対策にも対応しており、とても実践的です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語表現 I」の科目目標について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	x	23 - 26	‘lie’ と ‘stay’ はどちらも「~のままでは、である」と訳すことができるので、混乱を招く可能性があります。写真の助けを借りることで、ニュアンスの違いが想像し易くなります	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真1、2に照らして、理解し難い。)	3-(3)	
			。			
5	1	18	Am I from America? ⇒ Yes, I am. No, I am not.	生徒にとって理解し難い表現である。 (質問への応答)	3-(3)	
6	6	22	Use past tense.	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
7	7	脚注 1行	boringに付された太字、斜体、下線	不正確である。 (強勢の位置)	3-(1)	
8	10	タイトル 右2 行	助動詞のアドバイス	不正確である。 (Warm-up 10の内容に照らして、不正確)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 28-174		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	10	地図	地図中の赤丸	生徒にとって理解し難い赤丸である。 (赤丸が大問2とどのように対応しているのか、理解し難い。)	3-(3)				
10	11	6	America students	誤りである。 (Americaではない。)	3-(1)				
11	15	21	自動詞は直後に修飾節がくることがあります。	誤りである。 (節ではない。)	3-(1)				
12	16	1 - 12	大問3全体	生徒にとって理解し難い問いである。 (指示文と説明文が対応しておらず、理解し難い。)	3-(3)				
13	16	17 - 18	1. I swim at night. 3. My brother works to earn money.	相互に矛盾している。 (14行目の英文との対応)	3-(1)				
14	17	14	4. What does Tracy do? He...	相互に矛盾している。 (Tracyを指す代名詞)	3-(1)				
15	26	8	I had so many things ____ at work	脱字である。 (ピリオドがない。)	3-(2)				
16	34	5	1st、2nd (2箇所) 他：10、12行 2nd、1st	生徒にとって理解し難い表現である。 (英文に付された1st及び2ndの意味について理解し難い。)	3-(3)				
17	34	16	大 学	誤植である。 (スペース)	3-(2)				
18	36	18	?) の赤文字	生徒にとって理解し難い配色である。 (理解し難い赤文字である。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 28-174		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	43	20	発音は下線部を強く読みます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下線部がない。)	3-(3)
20	44	7	children playing in the sea.	誤りである。 (ピリオド)	3-(1)
21	55	9	壊す	表記が不統一である。 (他の日本語訳と異なる書体)	3-(4)
22	56	35	間違えの多い	誤記である。 (平仮名)	3-(2)
23	61	1 - 11	写真及びSteven (2箇所)、スティーブン	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
24	66	19	Strawberry Fields	不正確である。 (The Beatlesの楽曲タイトルとして不正確)	3-(1)
25	69	5	(choose one word from the parentheses.)	相互に矛盾している。 (大問1に括弧が見当たらない。)	3-(1)
26	87	5 - 14	woman 1、woman 2、manの表記 他：136ページ2-7行	英語の現代慣用によっていない。 (語頭の小文字)	固有 2-(1)
27	87	14	What does woman 2 wonder?	相互に矛盾している。 (会話文との対応)	3-(1)
28	91	12	Jacuzzi 他：脚注2行/ 126ページ左欄8行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 28-174		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
29	91	脚注 2行	[a]pool slide—プールサイド	誤りである。 (日本語訳)	3-(1)
30	92	1 - 2	Change the words in parentheses to past tense (過去形).	表記が不統一である。 (6ページ18行目では、change the words in parentheses to the past tense (過去)と表記)	3-(4)
31	92	4 - 9	英文に付された1-6の番号	相互に矛盾している。 (1行目Then, five sentences below. 及び10-15行目の番号と対応していない。)	3-(1)
32	97	12	I used it all	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトと異なる。)	固有 1-(3)
33	98	1	Match 1 - 6 with A - F.	相互に矛盾している。 (右表ではA. B. D. F. G. H. と付されている。)	3-(1)
34	104	14	spots/video games	生徒にとって理解し難い問いである。 (12行目Compare each pair below. に照らして、spotsとvideo gamesの対比について理解し難い。)	3-(3)
35	115	16 - 17	S1とS2の対話	生徒にとって理解し難い記述である。 (Activity 5との対応)	3-(3)
36	117	4	FUQ 他：7、10、13、16、19行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同じ音になる使用が忌避される語と誤解するおそれ)	3-(3)
37	123	左欄	長母音2、3、4、6、7番	相互に矛盾している。 (長母音ではない。)	3-(1)
38	123	写真	母音4番 写真 他：母音19、20番	相互に矛盾している。 (当該見出し発音表記との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 28-174		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現 I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
39	123	母音 11番	John	相互に矛盾している。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)				
40	123	図	母音16番 図 他：母音17、18、19、20、21番/ 124ページ子音2、3、4、5、6、8、10 、11、13、15、16番	不正確である。 (断面図に鼻腔の情報がない。)	3-(1)				
41	123	下囲み 16番	口角を上げ 他：18番 唇をとがらせ/ 20番 下あごを少し開きながら/ 124ページ下囲み7番 軽く噛みます/ 8番 舌の先端を上下前歯の間に挟んだ	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該見出し発音表記の発音方法として一般的でなく、理解し難い。)	3-(3)				
			後、素早く後ろに戻します。/ 17番 Lの発音のように舌は使いません。 唇を少しとがらせ、唇の中心部に集中するようにします。						
42	124	図	子音3番 図 他：子音11、15番	相互に矛盾している。 (当該見出し発音表記との対応)	3-(1)				
43	124	図	子音10番 図	表記が不統一である。 (子音2番の図に照らして、舌の位置が不統一)	3-(4)				
44	124	写真	子音17番 写真	表記が不統一である。 (123ページ母音21番の写真に照らして、不統一)	3-(4)				
45	127	第1欄 4行	staff person-----82	誤りである。 (初出ページ)	3-(1)				
46	132	42	地震が合った	誤記である。 (漢字)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-150	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	----------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	2	22	PART 2 トピック別ライティング 他：3ページ1行 PART 3 パラグラフ・ライティング/ 15行 PART 4 自由英作文	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語表現Ⅱ」の科目内容について誤解のおそれ)	3-(3)
2	42	10	man	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (manの意味について誤解のおそれ)	3-(3)
3	51	20	油で揚げた	相互に矛盾している。 (英語と相互に矛盾)	3-(1)
4	88	8	men	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (menの意味について誤解のおそれ)	3-(3)
5	98	囲み 13行	主食	相互に矛盾している。 (囲み6行 the main dishと相互に矛盾)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-151		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻		Section 1 Sentence Writing Section 2 Paragraph Writing 9-86ページ 他：CAN-DO List for Active English	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (学習指導要領第2章第8節第2款第6の2内容(1)ア「与えられた条件に合わせて、・・・。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。」ウ「聞いたり読	2-(1)				
			表見返し I-II ページ 目次 2-3ページ 本書の構成と使い方 4-8ページ	んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。」エ「多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために					
				意見を述べ合う。」とあるが、Section 1と2は書くことの言語活動中心に構成されている。)					
2	26	3	Geep Island	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
3	71	グラフ	月別の平均気温と降水量のグラフ	学習上必要な出典及び年次が示されていない。	2-(10)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-152		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	17	20	Ms. Nicole	英語の現代慣用によっていない。 (ファーストネームへの敬称)	固有 2-(1)				
2	112	12	look outの発音表記	表記が不統一である。 (同行in an hourに照らして、二重母音表記が不統一)	3-(4)				
3	112	17	Is your fatherの発音表記	不正確である。 (yourの発音表記)	3-(1)				
4	116	16	Your're welcome	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
5	143	グラフ	おでんの具材の地域性	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
6	裏見返 V	26	Dickens'sの発音表記 他：28行Dickens'	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-154		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	72	35	notebok	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
2	108	27	18-and-19-year-olds 他：109ページ29行	不正確である。 (年齢表記)	3-(1)				
3	126	29	まったく同意見です I (entirely) agree (with you).	表記が不統一である。 (21-22行(まったく)そのとおりです That's (certainly) true. の場合と括弧の付け方が不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-155	学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
-------------	---------	--------	----------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	17	18 - 19	ベートーヴェンの第9 Beethoven's Ninth Symphony	不正確である。 (曲名の表記)	3-(1)
2	29	表	表	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
3	84	24	Some Japanese are influenced too much by other cultures	脱字である。 (ピリオド)	3-(2)
4	91	グラフ	円グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-156		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	21		英語の情報構造 他：37ページ 主語と動詞の一致	文法について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。 (学習指導要領第2章第8節第3款3イ「文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。」)	固有 1-(2)
2	25	6	Skyping 他：9行 Skype	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
3	53	8	子音のあとに半母音の/j/が続く場合は音が変化して・・・なります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべての子音についてこのような変化が起こるかのように誤解するおそれ)	3-(3)
4	53	28	emploee	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
5	85	上段中央吹き出し	SPRITE	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
6	111	21	4. 学校へはきちんとした服装をしていなければならない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (日本語訳)	3-(3)
7	118	21	LINE 他：同行 FaceTime	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-159		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	8	The Basics	Bikal	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
2	37	上	英文の支持文の範囲	不正確である。 (支持文の範囲が文の途中で切れている。)	3-(1)				
3	38	右下写真	書籍の宣伝文	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (One of the best books of the decade. WINNER OF THE BOOKER PRIZE)	2-(7)				
4	62		リスニング問題 1. 2. 3.	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトは「賛成意見」と「反対意見」のどちらの立場に基づいたものかが不明確で、選択肢を選べない。)	固有 1-(3)				
5	71	グラフ	グラフ (2箇所)	学習上必要な出典及び年次が示されていない。	2-(10)				
6	124	8	安倍公房	誤記である。 (漢字)	3-(2)				
7	124	15	closed	表記が不統一である。 (1行correctedの場合と書体が不統一)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 28-160		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	9	最下行	Words & Phrases p.146 他：11ページ/ 17ページ/ 19ページ/ 21ページ	相互に矛盾している。 (該当する項目がp. 146にはない。)	3-(1)
2	64	12	Take is easy 他：65ページ17行	英語の現代慣用によっていない。 (英語の表現)	固有 2-(1)
3	80	欄外 2行	an actor	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (いずれの語も強く発音されるかのように誤解するおそれ)	3-(3)
4	101	15	about seven and sixty million foreign travelers	英語の現代慣用によっていない。 (数字の示し方)	固有 2-(1)
5	132	3 - 5	Unit 3 Lesson 13 仮定法・・・ p.133のInformationなどを参考に	相互に矛盾している。 (133ページでは、仮定法に関連する項目は扱われていない。)	3-(1)
6	152	左欄 13-15 行	She agreed with my suggestion that we should visit Paris again.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (shouldの用いられ方について誤解のおそれ)	3-(3)
7	158	左欄 7行	www.sanseido.co.jp	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 28-165		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	20	右上	Dairy Life	誤りである。 (スペリング)	3-(1)				
2	49	4	(Looking at, Looked at by) the blue sky	表記が不統一である。 (36ページ16行Seeing the heavy clouds, とコンマの付け方が不統一)	3-(4)				
3	53	34	English test	表記が不統一である。 (72ページ左欄12行a chemistry exam[test]のtestは可算名詞である。)	3-(4)				
4	56	9	resume	表記が不統一である。 (75ページ右欄15行a resumeと表記が不統一)	3-(4)				
5	73	右欄13行	cheer leading 他：右欄14行body building 128ページ33行 trust worthy	誤植である。 (スペース)	3-(2)				
6	83	大問D	1. と3. の空欄 他：98ページ大問A 3. と4. の空欄	生徒にとって理解し難い空欄である。 (どの選択肢を入れたらよいか不明確)	3-(3)				
7	90	6	the global warming	表記が不統一である。 (89ページ2行Global warmingと冠詞の付け方が不統一)	3-(4)				
8	91	19 - 20	You should pick up three supporting sentences	英語の現代慣用によっていない。 (pick up)	固有2-(1)				
9	100	28	People depends more on	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)				
10	105	13 - 14	how the language spoken in France	不正確である。 (文法)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 28-166		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	14	19	自動詞と誤りやすい他動詞：answer, discuss, enter, leave, marry, reach, resembleなど	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (例として挙げられている単語が全て他動詞としてのみ使われると誤解するおそれ)	3-(3)
2	24	3 - 4	set in downtown in New York City	英語の現代慣用によっていない。 (downtownの用法)	固有 2-(1)
3	27	32	the novel “Help”	不正確である。 (書名の表記)	3-(1)
4	41	29 - 30	Such machine	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
5	46	左欄 50行	apologize A for B	英語の現代慣用によっていない。 (apologizeとAの間に前置詞がない。)	固有 2-(1)
6	50	左欄 7行	take a sleep	英語の現代慣用によっていない。 (動詞と名詞の組合せ)	固有 2-(1)
7	52	23	Prime Minister	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
8	56	9	since a long time ago 他：裏見返5ページ10行	英語の現代慣用によっていない。 (sinceとagoの併用)	固有 2-(1)
9	59	4	the greenhouse gases	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
10	72	31	University of Toronto	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 28-166		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	84	30	stay at hotel	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
12	88	5	労働条件 working condition	英語の現代慣用によっていない。 (日本語訳に対応する名詞の形)	固有 2-(1)
13	136	17	is on overdue.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)
14	137	15	They can work on a shift.	英語の現代慣用によっていない。 (on a shift)	固有 2-(1)
15	137	16	can be combined to class	英語の現代慣用によっていない。 (combineとともに用いる前置詞)	固有 2-(1)
16	138	13 - 14	by other ways	英語の現代慣用によっていない。 (by)	固有 2-(1)
17	138	17 - 18	and community	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
18	141	20 - 21	Regarding to our second point	英語の現代慣用によっていない。 (Regardingとともに用いるto)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 28-168		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	8	16	animal doctorに付された強勢を示す黒丸	不正確である。 (第2強勢の位置)	3-(1)				
2	24 - 25	全体	強勢を示す黒丸 他：134ページ	表記が不統一である。 (8ページ16行目に照らして、第2強勢の示し方が不統一)	3-(4)				
3	79	9	Young as he was, he is a talented zookeeper.	誤りである。 (時制)	3-(1)				
4	97	11	According to ABC report,	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)				
5	97	15	animals on books	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)				
6	107	9	eating rice with rich in vitamins	英語の現代慣用によっていない。 (with)	固有 2-(1)				
7	107	10	than supplement	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
8	107	グラフ	世界人口と世界の遺伝子組み換え作物作付面積のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
9	109	27 - 28	If GM crop pollen dust flies to our field and attach itself	誤りである。 (主語に対応するattach)	3-(1)				
10	113	9	for them	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈に照らして、themが何を指すのか理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 28-168		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	113	グラフ	入所受刑者の再入者人員・再入者率の推移のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
12	115	グラフ	Figure 1	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)
13	116	左グラフ	グラフA	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)
14	116	中央グラフ	グラフB	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
15	116	右表	表C	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 28-170		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	3	Program14	I Was So Depressed about My English That...	表記が不統一である。 (120ページのタイトルと不統一)	3-(4)
2	29		3. 「弱形の発音にも注意」の例文	相互に矛盾している。 (説明文と縮約形の例文との対応)	3-(1)
3	41	表 最終行	lasagha	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
4	69	27	1) A: Would you like tea or coffee?の矢印	生徒が誤解するおそれのある矢印である。 (teaの後ろに矢印がないため、文尾以外はイントネーションがないと誤解するおそれ)	3-(3)
5	73	Challenge	例にならって、自分の考えや感想などを発表してみましょう。	生徒にとって理解し難い指示文である。 (何について自分の考えや感想を述べるのかが不明確)	3-(3)
6	74	上 タイトル	He Answered Whatever Questions 他：2ページ目次	生徒が誤解するおそれのあるタイトルである。 (複合関係代名詞の用法について誤解するおそれ)	3-(3)
7	81	下 囲み	Challenge (全体)	表記が不統一である。 (Challengeの構成が不統一)	3-(4)
8	96	Listen&An	小問1. 他：98ページ Listen&Answer 小問 1. 2. 104ページ Listen&Answer 小問	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトから選択肢を選ばない。)	固有 1-(3)
			1. 2. 3.		
9	114	Exp ressio	Mt. Daisen	誤植である。 (Mt. の後にスペースがない。)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 28-172		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	13	26	悠真になったつもりで	生徒にとって理解し難い表現である。 (悠真の制服についての意見が不明確)	3-(3)				
2	18	7 - 8	Recently, many studies show that... 他：28ページ9行 Recently, the beneficial effects of pets are being researched scientifically.	英語の現代慣用によっていない。 (recentlyと共に用いられる時制)	固有 2-(1)				
3	62	26	echidna ハリモグラ lizard とかげ	誤記である。 (本文の出現順に並んでいない。)	3-(2)				
4	64	10	the pros and cons of our destinations	相互に矛盾している。 (66ページ22-23行では、 the pros and cons of your destinations)	3-(1)				
5	90	16	適切な語を入れましょう	相互に矛盾している。 (括弧内に入ると想定されているのは、語だけではない。)	3-(1)				
6	91	7	人込みが苦手	スクリプトと相互に適切な関連が図られていない。 (スクリプトには、人込みについての言及がない。)	固有 1-(3)				
7	93	17	tourist	表記が不統一である。 (19行 touristsと不統一)	3-(4)				
8	96	26	Rebuttal Speech 他：28行	相互に矛盾している。 (日本語と相互に矛盾)	3-(1)				
9	114	5	ニューヨークのある国連本部	誤記である。 (平仮名)	3-(2)				
10	114	側注 34行	講義する	誤りである。 (raise one's voice の日本語訳として誤り)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-175		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	全巻	脚注	熟語	表記が不統一である。 (viページ「ページ下部の脚注に示される新出単語・熟語には、太字斜体で表記されている部分があります。これは、そこにアクセントを置くことを意味しています。」に照らして、表記が不統一)	3-(4)				
2	表見返		Natural English (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (147-148ページの解説についての記載がないため、誤りのある文を正しい文だと誤解するおそれ)	3-(3)				
3	iv	3	独立分詞構文② 他：53ページ左上、中 54ページ右中	生徒にとって理解し難い表現である。 (独立分詞構文①がないのに②がある。)	3-(3)				
4	v	5 - 6	各種英語試験対策にも対応しており、とても実践的です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語表現Ⅱ」の科目目標について誤解するおそれ)	3-(3)				
5	v	15	各Unitは4～5のLessonが含まれます。	不正確である。 (各Unitに含まれるLesson数)	3-(1)				
6	vii	9	3. ～のスペルはどのように書きますか。	相互に矛盾している。 (吹き出し3 How do you spell that? との対応)	3-(1)				
7	vii i	吹き出し2	Could you speak more slowly please.	誤記である。 (ピリオド)	3-(2)				
8	2	脚注1行	put in ～ ～を設置する	不正確である。 (当該ページにput inがない。)	3-(1)				
9	7	3 - 4	If (I) were to... / If (I) should... を使って、仮定法過去を「万一」の意味になる仮定法に書き換えましょう。	相互に矛盾している。 (1ページ24-25行の説明と相互に矛盾)	3-(1)				
10	12		大問2 (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (想定される答えが生徒にとって理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-175		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	12	5	women's Soccer World Cup	誤記である。 (wが小文字になっている。)	3-(2)	
12	15	10	上記の2と4を~ingを使って、今何が起きているのかを想像して書きましょう。	生徒にとって理解し難い指示文である。 (「今何が起きているのかを想像して書く」とは どういうことか不明確)	3-(3)	
13	16	7	並びかえましょう 他：24ページ1行 71ページ15行	誤記である。 (平仮名)	3-(2)	
14	20	大問2 の1.	That's ... I'm learning Japanese	脱字である。 (ピリオドがない。)	3-(2)	
15	21	18	G-1A This was the house that I grew up in.	表記が不統一である。 (20行G-2A、22行G-3Aの例文と前置詞の付け方が不 統一)	3-(4)	
16	21	20	preschool	表記が不統一である。 (21行schoolと不統一)	3-(4)	
17	24	6 - 7	次の英文にあるthatをwhen / where / why / how のいずれかに書き換えて、 ・・・。	生徒が誤解するおそれのある指示文である。 (thatを当該関係副詞のいずれかに書き換えただけ で文が成立すると誤解のおそれ)	3-(3)	
18	26	大問2 の3.	coming home / late / (Linda and Sam's) bothers / me	誤記である。 (スラッシュが足りない。)	3-(2)	
19	26	大問2 の4.	am / thankful for / I / Mari / arriving safely	相互に矛盾している。 (指示文はchange the words in parentheses into pronounsとあるが、括弧が付いていない。)	3-(1)	
20	28	23	ソン マサヨシ～	誤植である。 (スワングダッシュ)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 28-175		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	31 - 32	L11	小問11. 12. 15. 16.	英語の現代慣用によっていない。 (than以下の動詞が代動詞になっていない。)	固有 2-(1)
22	32	L11	You are rich, I am poor.	不正確である。 (接続詞がない。)	3-(1)
23	49	7	They kids	不正確である。 (文脈に照らして、Theyではない。)	3-(1)
24	50	3	I	不正確である。 (想定される答えはIから始まらない。)	3-(1)
25	51	8	uncles says	不正確である。 (4行目に照らして、名詞の形が不正確)	3-(1)
26	52	脚注 1行	inconvenientに付された太字、斜体、 下線	不正確である。 (強勢の位置)	3-(1)
27	61	本文	本文に付されたG-1とG-2の記号	表記が不統一である。 (当該ページ21行はGとなっている。)	3-(4)
28	67	脚注 1行	awaken by ~ 他：134ページ左欄6行	表記が不統一である。 (5ページ脚注2行 (be) hit by a busと括弧の付け方が不統一)	3-(4)
29	72	脚注 1行	snowboarding - スノーボードをする 他：78ページ脚注2行 you make a great couple - あなたたちは素晴らしいカップルである	相互に矛盾している。 (英単語と日本語訳の対応)	3-(1)
			94ページ脚注2行 [a] result - 最後の部分		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 28-175		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語表現Ⅱ		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
30	73	G-2	5分歩いたら、私達は海に着いた。 他：139ページ3行 たくさんの飛行機 を着陸させたため	相互に矛盾している。 (英文と日本語訳の対応)	3-(1)				
31	82	左 中	Source: Piper Jaffray 他：84ページ右 中 Source: Derek Thomson	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
32	93	7	Jacuzzi 他：脚注1行 132ページ第2欄2行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
33	95	16	文構造	生徒にとって理解し難い表現である。 (文構造が何を指すのか理解し難い。)	3-(3)				
34	98	1 - 2	In parentheses, write though / although / even though.	生徒にとって理解し難い指示文である。 (想定される答えが複数あり、指示文の意図が不明 確)	3-(3)				
35	104	大問4	Use because / although / so that / etc.	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)				
36	109	6	I can speak to my friends not only in English, but also in Italian. の コンマ 他：20行 I speak to my friends not	生徒が誤解するおそれのあるコンマである。 (but alsoの前には常にコンマを付けると誤解する おそれ)	3-(3)				
			only in English, but also in Italian. / Not only Aoi, but also Jun won. 110ページ7-8行Michael Jackson was ... a great dancer, ... an amazing						
			singer.						
37	124	24	According to paragraph one 他：26行	不正確である。 (paragraph oneではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

